

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公表番号】特表2008-515520(P2008-515520A)

【公表日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2007-535309(P2007-535309)

【国際特許分類】

A 6 1 B 8/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/08

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月3日(2008.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の移動を有し、第2の移動の影響を受けやすい少なくとも1つの関心のある構造物を含む被験者の解剖学的領域の超音波画像データを表示するシステムにおいて、前記解剖学的領域のデータを供給するための手段を有するシステムはさらに、

- 前記関心のある構造物を通過する既定の方向を持つMモードディスプレイのMラインに沿って、前記データから2つのピークの位置を決める手段であり、前記ピークは第1の瞬間の前記構造物と前記Mラインとの交差位置に夫々対応している手段、

- 既定の方向であり、前記ピーク間の既定の距離だけ離れて、前記関心のある構造物と前記Mラインとが交差するように前記平面の位置を設定する手段、

- 前記平面を第2の瞬間に移動させてるので、前記ピークが前記第1の瞬間にに対して移動している場合、前記距離は一定に保たれる手段、及び

- 前記平面の位置に依存する視点から、前記解剖学的領域内の前記構造物を連続して表示するので、前記表示される構造物の第2の移動は安定している手段を有することを特徴とするシステム。

【請求項2】

前記データはストリームで供給され、前記表示される画像は進行中は安定化される請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記データは2Dデータ又は3Dデータであることを特徴とする請求項1又は2に記載のシステム。

【請求項4】

前記平面の方向は、前記Mラインに対して垂直であることを特徴とする請求項1、2又は3に記載のシステム。

【請求項5】

前記解剖学的領域及び前記構造は、夫々前記心臓及び弁環に対応している請求項1乃至4の何れか一項に記載のシステム。

【請求項6】

第1の移動を有する被験者の解剖学的領域の超音波画像データを表示するための方法であり、前記領域は、第2の移動の影響を受けやすい少なくとも1つの関心のある構造物を

含んでいる方法において、

- 前記解剖学的領域のデータを供給するステップ、
- 前記関心のある構造物を通過する既定の方向を持つMモードディスプレイのMラインに沿って、前記データから前記2つのピークの位置を決めるステップであり、前記ピークは第1の瞬間の前記構造物と前記Mラインとの交差位置に夫々対応しているステップ、
- 既定の方向であり、前記ピーク間の既定の距離だけ離れて、前記関心のある構造物と前記Mラインとが交差するように前記平面の位置を設定するステップ、
- 前記平面を第2の瞬間に移動させてるので、前記ピークが前記第1の瞬間に關して移動している場合、前記距離は一定に保たれるステップ、及び
- 前記平面の位置に依存する視点から、前記解剖学的領域内の前記構造物を連続して表示するので、前記表示される構造物の第2の移動は安定しているステップを有することを特徴とする方法。